

新座市指定管理者制度導入施設管理状況評価シート（令和7年度分）

【施設の概要】（所管部記入）

施設名	新座市放課後児童保育室（西堀、片山、東北、野火止、池田、東野、新開、陣屋、新座）			
所在地	新座市西堀二丁目18番3号 外8か所		所管部署	こども未来部保育課
制度導入年度	令和6年度		選定方法	☐ 公募 / ☒ 指名
指定管理者	名称	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	所在地	東京都調布市調布ヶ丘3-6-3
	指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間）		

【事業概要】（指定管理者記入）

事業概要	放課後児童保育室の運営（西堀、片山、東北、野火止、池田、東野、新開、陣屋、新座） (1) 児童の保育に関すること。 (2) 保育室の施設及び設備の維持管理に関すること。
特筆事項	※ 運営において創意工夫した点や指定管理者の提案による新たな取組等を記載 ①指定管理業務2期目2年度。弊社の独自の取り組みと強みを活かし「イベント（ツール納品・相互オンライン・動画）を提供することによって更なる楽しさと生活の充実感を味わって頂く様心掛けています。 ②新座市民会館にて対面による計4回の「全体研修」を実施致しました。（令和6年度・計4回） 令和7年度は学童・ココフレンドの一体化事業の一環として「学童・ココフレンドの合同研修」を①「9月・アレルギー対応」②「11月・事例検討研修（発達障がい）」③「2月・子どものより良い放課後の居場所づくりのために」④「3月・性に興味を持ち始めた児童の対応について」の計4回実施致しました。（参加者は約100名）講師との対面による研修は、ZOOM・動画研修とは違い臨場感と参加支援員の真剣な眼差しがあり、実りある研修となりました。「学童・ココフレンドの合同研修」は今後も継続して実施していく予定です。 ③弊社の「学童保育事業本部」より、イベントごとに季節に合わせた創作物（ツール）等が各保育室に納品され、余暇活動の一環として活用しました。（入室・子供の日・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・お正月・卒室等） 通年イベントでは「みんなのかいぎ（こどもかいぎ）・ふわふわの木・さすてなじゃんぼりーMAP台帳等」 今年度も夏期休業時にオンラインイベント①「絶滅危惧種を救え！動物パズルのミッションにも挑戦」②「オンラインプラネタリウム★夏の星座と天体ショーをみよう」③「まるで魔法！光の世界を探索～実験」、娯楽性が強く児童の興味を引く「一体型」のイベントになったと感じています。 ④保育を通じて直面する諸問題の中で、現場で対応が困難なケース（いじめ、発育に於ける性への興味、発達障がい児への対応など）につきましては必要に応じて、本社専門機関（シダックスキッズサポートチーム）と連携して、適切な対応をとるよう努めてまいりました。とりわけ今年度におきましては、現場検証や再指導を行う事案等はございませんでしたが、アフターケアサポート体制も構築してまいりました。PC動画配信（shouin）もよりコンテンツが増えて（チャイルドケアプログラムの中級等）支援員への教育ツールとして活用しています。 ⑤今年度も引き続き、緊急連絡の一斉同時配信を可能とする子育てクラウド「hugmo」アプリを活用しています。毎年、年度初めに必ず「アプリの登録方法のマニュアル」をアナウンスし、アプリ登録者の増加を促進しました。現在はほぼ全世帯の登録者数が見込まれております。緊急時の連絡といたしまして、電話連絡・「hugmo」一斉配信を状況に応じ使い分けることによって連絡・伝達の不手際に繋がらないように努めてまいりました。又、出欠状況の確認や連絡帳としての機能も充分に使いこなし、デジタル機能の充実にも努めてまいりました。 ⑥令和6年度より「①片山②池田③陣屋」保育室が立ち上がった事により、管理・運営での「学童とココフレンドの完全一体化」がなされました。ココフレンドとの連携、合同での「一体化事業展開」も意識し実施して参りました。 「全体研修（支援員向け）」①「9月・アレルギー対応」②「11月・事例検討研修（発達障がい）」③「2月・子どものより良い放課後の居場所づくりのために」④「3月・性に興味を持ち始めた児童の対応について」の全4回の研修では、ココフレンドスタッフも参加し「学童・ココフレンドの合同研修」として実施致しました。今後も実施していく予定です。合同イベントでは「タグラグビー、フルートコンサート、演奏鑑賞会、大道芸人鑑賞会、ドローン教室、お金講座等」を実施し、合同での避難訓練も一部実施致しました。今後も合同の事業・イベントを実施していく予定です。 ⑦「児童用宅配弁当サービス（ペコフリー）」は保護者様自身がアプリでの注文となり、現場の支援員の負担も少ないシステムとなります。現場の声・保護者様アンケートより、大きなトラブルもなく概ね好評を頂きました。今後も、保護者様への負担軽減と、選択肢の1つとして運用を続けて参ります。

【総合評価】

指定管理者の自己評価

総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	令和7年度、市民会館での対面での「全体研修（計4回）」を実施致しました。 ①「9月・アレルギー対応」②「11月・事例検討研修（発達障がい）」③「2月・子どものより良い放課後の居場所づくりのために」④「3月・性に興味を持ち始めた児童の対応について」 ※令和6年度からの全体研修は「学童・ココフレンドの一体化事業」の一環としてココフレンドスタッフも加わり「学童・ココフレンドの合同研修」と言う形で実施致しました。 合同イベントでは「タグラグビー、フルートコンサート、演奏鑑賞会、大道芸人鑑賞会、ドローン教室、お金講座等」を実施し、合同での避難訓練も一部実施致しました。今後も合同の事業・イベントを実施していく予定です。また、学童とココフレンドの「スタッフの連携（欠員補充等）」も進めて参ります。 夏期オンラインイベント（プラネタリウム・実験等）・イベントグッズ（弊社独自ツール納品）・ハグモ・shouin(オンライン・動画)等で、弊社の独自性や強みを発揮する事が出来ました。 「児童用宅配弁当サービス（ペコフリー）」は、保護者様自身がアプリでの注文となり、現場の支援員の負担も少ないシステムとなります。現場の声・保護者様アンケートより、大きなトラブルもなく概ね好評を頂きました。 児童と保護者に対して安全安心な保育を心掛けると共に、集団でも個人でも楽しめる企画イベント構成にも着手し、広報活動を通じて一定の評価を頂く事が出来ました。又、スタッフ間での情報の場として月に一度「常勤スタッフ会議」を開催し（※一日保育期間は除く）形式的な事務連絡のみならず「子ども会議」開催の報告や「保護者アンケート」の結果についての協議、「イベント」開催後の報告を受け、他保育室間の共有を深め、現場の声主体の会議の形式にした結果、より多くの貴重な意見を保育現場に反映することが出来ました。 R6年度より開始となりました「①片山②池田③陣屋」に関しては、2年目を迎え職員配置等、組織的にも安定し、大きなトラブルなく運営出来ています。 人員配置につきましては、その保育の実態に合わせた配置変換をさせて頂きました。更に積極的に優良な人材の採用・育成・配置に努め、研修・教育による質の向上と実務を通じた利用者との関わりの中で信頼関係を築きあげる事と、職員にとって働きがいのある職場作りを構築する事が引き続き次年度以降の課題であります。 各保育室ともに規定配置人数は上回っているものの、より人員配置を厚くし「質の高い保育」を目指して参ります。 （保育室環境） ・夏期休暇前に専門業者によるエアコン清掃にて、清潔で除菌を含めた快適な室内空調を提供しました ・年度末に全保育室の床清掃を実施しました。専門清掃を実施する事で床の傷や亀裂などの手入れがなされ、除菌も行ない、安全な遊び場の環境を整備しました。 （児童の安全性） ・避難訓練におきましては恒例の火災、地震の想定も含め不審者対応の訓練にも積極的に取り組みました。 ・「さすまた」を全保育室に常備し、使用方法も動画などを参考に研鑽に努めました。 ・児童の引き渡しにも十分に配慮し児童票に無い方（近所や親戚と名乗る方）への引き渡しはご遠慮頂き、細心の注意を払いました。 ・遊具や一輪車の定期的なメンテナンスにも努めました。			
改善策	※ 評価Bの場合のみ記入			

市の評価

総合評価	S	☐	優良	項目別評価総括が全てA以上であり、Sが二つ以上である。
	A	☒	適正	項目別評価総括が全てA以上である（上記以外）。
	B	☐	課題あり	項目別評価総括にBが含まれている。
評価内容	子どもが楽しく安心して過ごせるよう工夫し、多様なプログラムや地域貢献を意識した活動及びココフレンドとの一体的な活動の充実を図ったことを評価する。 保育室運営については、オンラインイベントや独自教材を活用し、引続き子どもが楽しめるような運営を行っていただいていると評価する。 狭あい化対策として実施しているタイムシェアに柔軟に対応したことも評価する。 社会的な課題として捉えている長期休業期間等の昼食提供について、「児童用宅配弁当サービス（ペコフリー）」を活用して、引続き自主的に課題解決に向けた取り組みを行っていることを高く評価する。 支援員の配置について、急な欠員等への対応において配置基準の遵守に努めたことは評価する。保護者との情報共有や情報発信等、直接的な保育以外の業務にも余力を持って取り組める配置を心がけてほしい。 安全面として、より事故が起こりにくいような仕組みや体制づくりに取り組んでいただきたい。 今年度も多様な研修を行ったことを高く評価する。 今後は、職員の定着及びさらなる研鑽に励んでいただきたい。			

【市の評価を受けた今後の取組や改善策等】（指定管理者記入）

* 現在も創意工夫をしながら、子どもが楽しく安心して過ごせる居場所の提供ができるような取り組みとして、ICTを活用としたプログラムおよび、地域の方々と協力しながらの活動をして参ります。

* 今後の国や県、市と連携をはかりながら、子どもの見守り事業を見据えて、ココフレンドとの連携した活動に注力して参ります。具体的には、避難訓練やスタッフ研修、イベントの実施をいたします。

* 少子化の時代ではあるが、近隣の事情により児童数の増減はあると理解している。急激な増減も考慮していきながら、保育課、保護者の意見を踏まえ柔軟な対応をして参ります。

* 「長期休暇等の昼食（お弁当）提供（ペコフリー）」に関しては、保護者アンケートでの要望事項も反映しながら、保護者様の負担の軽減につながる様、引続き対応して参ります。

* 子どもの安心・安全が第一であると考えている。そのためには、子どもの見守りをする全ての支援員、補助員が自覚をもって子どもに接する必要がある。また子どもの保護に関する法規制も変化しているため、子どもの見守り方等の考え方をブラッシュアップする必要もあるため、集合研修やオンライン、コンテンツ等を適宜実施して参ります。

* 現状として、人材確保が非常に困難な状況ではあるが、幅広い媒体を活用して不足な事態に備えて参ります。また、突発的な欠員での現場支援として、営業所として「現場支援要員（ヘルプ）」の活用により、バックアップ体制を整えて参ります。

* 職員の定着は絶対不可欠な課題と考えている。そのためスタッフ間とのコミュニケーションおよび、定期的な支援側との面談に努めて参ります。

* 保護者との信頼関係の構築も適切な保育室運営で重要であるが、hugumo（ハグモ）の登録率が進んでいない保育室がある。一つの情報共有媒体として有効なものであるため、保護者に登録を促して参ります。

今後も引き続き利用者様のお声を真摯に受け止めながら、ご要望頂いた内容が少しでも保育業務に反映できるように努めて参ります。

【過年度の評価結果まとめ】（所管部記入）

評価区分	令和6年度 （ 1年目）	令和7年度 （ 2年目）	令和8年度 （ 3年目）	令和9年度 （ 4年目）	令和10年度 （ 5年目）
指定管理者の自己評価	A	A			
市の評価	A	A			